

### 第3回 ナンバープレート表示の視認性確保等に関する検討会 議事概要

日 時 平成20年7月10日(木) 10:00~12:00

場 所 築地NTTデータビル7階 自動車登録管理室会議室

議題1 ナンバープレートカバーの視認性実験結果報告(説明:関係委員、事務局)

議題2 ナンバープレートの塗装と汚れ防止について(メーカーヒアリング)

議題3 大型貨物自動車の後部ナンバープレートに関する基準策定のための視認性実験方法説明(説明:関係委員、事務局)

#### 【ナンバープレートカバーの視認性実験について】

[各委員からの質疑等]

- ・ 実験の被験者はどのような方々を集めたのか。
- ・ 実験で使用したナンバープレートは毎回同じ物を使用したのか。
- ・ 実験ではカバー有り無しでは視認性に大きな違いが見られた。
- ・ パブコメをするならばしっかりと国民に周知させてほしい。

[事務局よりの回答]

- ・ 実験の被験者は20代から40代の男女それぞれ5人ずつ、かつ運転免許を所有している方を集めた。
- ・ 実験にはランダムに数字を選んだダミープレートを使用した。
- ・ カバーの縁によって照度のムラが出る場合があった。
- ・ パブコメについてはプレスなどに公表する予定である。

#### 【ナンバープレートの塗装と汚れ防止について】

[各委員からの質疑等]

- ・ ナンバープレートは、自動車のボディの塗装と比較して塗装が弱いのではないか。
- ・ カバーを付けていた方がナンバープレートを掃除するときには圧倒的に楽になる。
- ・ カバーを装着していてもそんなに密着性があるわけではないので結局汚れが付いてしまうのではないか。
- ・ ナンバープレートの意義などをもう少しPRすべきではないか。
- ・ 汚れ防止のためにカバーを付けている方が多いが、クリーナーなどで十分に綺麗になるのではないか。

[メーカーからの説明、回答]

- ・ ナンバープレートの塗膜には、ある程度柔軟性を持たせるために塗装を薄くしている。
- ・ 大部分のナンバープレートの汚れは適切な洗浄剤を使用して取り除くことができるのではないかと。
- ・ 塗膜を樹脂コーティング等で厚くすると塗膜のバランスが崩れ、逆に「割れ」「はがれ」が生じてしまう。

#### 【大型トラックの後部ナンバーについて】

##### [各委員からの質疑等]

- ・ 実験案では大型後部反射器との間にナンバープレートが収まることになるが、ほとんどの車に適用されるのか。
- ・ 車種は限定せずに行った方がいいのでは。
- ・ 荷台と突入防止装置との間が 220 ミリというのは、実際にトラックでかなり多いのか。
- ・ 荷台の後面下部と突入防止装置の間をどの部分で図るのか。

##### [事務局からの説明、回答]

- ・ 大型トラックの後部ナンバープレートの実験は車種を限定して行う。
- ・ 後部ナンバープレートの取り付け位置の基準策定のための試験は9月中旬を予定している。

##### [日本自動車工業会からの説明]

- ・ 大型トラックで見えにくいのは3軸車、4軸車の低床バンであり、荷台と突入防止装置との間にナンバーを取り付けるものの見え方に特化して実験を行う。

##### [日本自動車車体工業会からの説明]

- ・ 車工会の中で確かに見えづらい車両について認識し、改善すべきという意見で一致した。
- ・ 現在、輸送の効率化に伴い、トラックの低床化が進んでおり、荷台と突入防止装置との間が 220 ミリ以下のものが結構多い。

#### 【まとめ】

- ・ ナンバープレートカバーについては、カバーが付いていない方がはるかに視認性が高いという実験結果となった。
- ・ 次回ではナンバープレートカバーの規制の方向性、及び大型トラックの後部ナンバープレートの取り付け位置について議論をしていきたい。